

秋田大学研究設備・機器の整備・共用推進に係るポリシー

(令和5年2月14日)

秋田大学は、地域の基幹総合大学として各専門分野での研究を極めるとともに、他分野や学外・国外の研究者との交流・連携を深め、新たな研究シーズを創出し、時代や地域が求めるニーズや課題に応える研究を推進し、研究成果の社会還元を目的に、科学技術イノベーション創出をリードし、様々な分野が融合する新たな研究や学問の創成を目指している。この目標を達成するため、本学の共通資産である研究設備・機器等を充実・強化するとともに、全学の協働体制の下で、以下のポリシーに則り、研究設備・機器の整備・共用及び学内外への有効活用を推進する。

1. 中長期的な視野の下、研究設備・機器の計画的・継続的な整備・共用を全学で推進する。
2. 本学に新たに導入する研究設備・機器は、原則として共同利用とする。
3. 本学の研究力の向上に資するため、研究設備・機器を、研究基盤として戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化するとともに効果的な運用を行う。
4. 共用設備・機器は、研究担当理事が所管する地方創生・研究推進課が中心となり、関係部局と調整を行い共同利用できる環境を整える。
5. 共用設備・機器の維持管理に係る経費は、学内運営費及び受益者負担により行うものとする。
6. 学外者による共用設備・機器の利用を積極的に推進し、地域との連携を強化する。
7. 新規取得及び更新などの研究設備・機器の整備及び専門的知識・技術を持った人材の育成は全学で協力してこれにあたる。